

第34回 うつのみやこども賞だより

平成29年度 8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『唐木田さんち物語』

いとうみく／著（毎日新聞社出版）

～読んだ本の感想より～

- 唐木田家の大家族ならではのエピソードが面白かった。
- 志朗が「13人家族だ」と作文に書いたところが、とてもほっこりする場面だった。唐木田家にいるそれぞれのキャラクターは、個性が様々で面白かった。
- 翔太という意味不明の人物がでてきて、一つ一つなぞが分かっていくことがわくわくして良かった。
- コメディな感じでも面白かったです。いつでも波乱万丈な家族だと思いました。
- 唐木田さんちのメンバーが個性的すぎて、おもしろく笑ってしまいました。
- 八人きょうだいを上手く切り盛りしているお母さんをほめたたい。
- 私のうちと家族こう成が似ていてとてもよみやすく、面白かった。ほっこりした。



「家族」って、
やっかいだけど、
おもしろい。

誰もが感じたことのある、めんどくさい、おいしい家族の絆を
小学五年生の男の子の成長を通して描く、児童文学。 毎日新聞出版

『青空トランペット』 吉野万理子／著（学研プラス）

- 野球の話で、みんな好きな道に行く話で良かったと思う。
- 広記が野球とふれあいながら、将来の夢について考えるストーリーが面白かったです。
- これからたくさんのかべが立ちはだかと思うが、3人なら一緒にこえ、より絆が深まるのではないかと感じた。
- 「応えんする人じゃなくて、応えんされる人になりなさい。」その言葉で成長していく健太郎がすごいと思った。いろんな人のいろんな思いが交さっていて面白かった。
- 妹を支えながら自分も成長する男の子にかんどうしました。
- 野球を観せんして本当の自分がやりたいことを見つけたのがよかったです。

『かえたい二人』 令丈ヒロ子／著（PHP出版）

- 最後「モナの月のらん」で、萌奈と穂木が対決するのが面白かったです。
- 最後の方の穂木の勇気がすごい！私もあんな風に勇気をだしてみたいです。
- おたがいのことを知りつくした本物の友情が分かりました。
- 穂木が萌奈のことを、ガツンとって、すっきりした。
- 穂木が自己紹介で、達成感を感じるのに新せんみを感じました。

『幽霊ランナー』 朝比奈蓉子／著（ポプラ社）

- 幽霊のしょうたいは悲しく意外な展開でしたが感動した。
- 毎年走る前に、いろいろなことがおきて走れなかったけれど、今年はちがくて、1位になってよかったです。
- 登場人物の秘密がだんだんわかるのがよかった。
- ゆうがあきらめずにがんばっていてすごいなあと思いました。ゆうれいがでてきて、現実てきじゃなきところがおもしろいなあと思いました。
- 黒歴史をくつがえそうとする優はすごいと思った。
- 幽霊と言われたり、けなされたりしながらも努力を続け、力がついていく優をすごいと思った。

平成30年1月7日

うつのみやとしょかん
Utsunomiya city library